



## 3月の歳時記(弥生/March)

## 春眠暁を覚えず!



### ★ 桃の節供

(5節供⇒1/7人日・3/3上巳・5/5端午・7/7七夕・9/9重陽)

ひな祭りは、女の子の健やかな成長を願う行事。(男の子は端午の節句) 上巳(じょうし)は旧暦3月3日の節句、桃の花が咲く季節であることから「桃の節句」とも呼ばれ、上巳とは3月最初の「巳(み)」の日の事。(後に3日に固定) 古代中国では上巳の日に川で身を清め不浄を祓う風習があり、日本にも伝わりやがて紙で小さな人形を・形代を作り、穢れを移し川や海に流してお祓いするようになり、現在も「流し雛」の風習に残る。

雛段は南向きとし、最上段に関東は西洋の習慣(大正)から左/男雛、右/女雛。

関西(京雛)は陰陽説により、左/女雛、右/男雛で日本古来の方式と言える。

2段目は3人官女(お世話係/和歌・漢文の心得)手持ちの鉾子は三三九度に使用。

3段目は5人囃子(能楽の囃子方/楽器・謡などの音楽隊)。4段目は随臣(御殿を守るで右大臣・左大臣)。5段目は仕丁(御所の雑用をする従者)となる。

★ 春は転勤や引越しのシーズン。遠くに行かれる方に「お餞別」として贈り物をされることも多いでしょう。本来、餞別は遠くへ旅立つ人にはなむけの気持ちを込めて金品を贈ること。昔は今と違い、旅は手軽で安全なものではなく、旅立つ人に贈る餞別は別れのしるし。今はその意味合いは薄れている。再会する機会がある方へ贈る場合は「栄転祝」「昇進祝」「退職祝」「御礼」などがいいでしょうね。

★ こよみ: 桃の節供(3)、啓蟄(5)、春分の日(20)、春彼岸(17~23)、仲春(3/5-4/4)

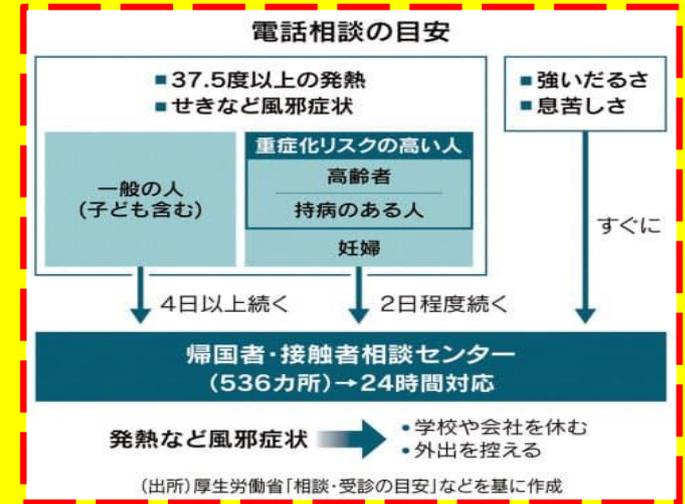
## I 新型コロナウイルスにご用心!

## 感染予防に万全を期す!

「先手」が大事、今できること

- こまめな手洗い
- アルコール消毒などによる手指衛生
- 生活習慣病コントロールなど健康管理
- 十分な休養
- 基礎疾患がある人や妊婦は人混みを避ける
- マスクの着用
- インフルエンザのワクチン接種
- 高齢者は肺炎球菌ワクチンの接種
- 不要不急の病院利用を控える
- 目や鼻、口をむやみに手で触らない
- 信頼できる情報を見極め落ち着いて適切な行動を取ること

※ 不要不急の外出、人混み、不特定多数の集会等は出来るだけ避けましょう!



状況が日々変化しますので厚生労働省のホームページを参照願います

## II 春季全国火災予防運動(3/1~7) 『ひとつずつ いいね! で確認 火の用心』



住宅防火対策の推進⇒住宅用火災警報器は設置していますか?管理していますか?(火災予防条例で設置義務) 寝たばこ厳禁。ストーブ周辺から可燃物を離す。ガスコンロから離れる場合は火を消す。コンセント埃除去・たこ足厳禁。防火安全対策の徹底⇒避難経路の確保、訓練の実施、防火・消火設備の維持管理状況確認は正等 可燃物の点検管理:許可品・数量確認、漏洩の有無・補修、廃ウエス等発火防止、廃液容器の密閉等 防火命を守るポイント⇒火災を発生・延焼させない。早く知る・知らせる。初期消火。危ないと判断したらすぐに避難。

## III とぴっくす 相馬だより

東日本大震災から9年を迎える!改めて防災を意識する月間です。



ヒラメ・アユの稚魚飼育棟

①福島県水産資源研究所(相馬工場内に設置/災害復興事業)を見学 研究施設と稚魚飼育設備・・・福島県沿岸業業の再生、種苗の供給と高度化研究 年間の稚魚等供給数(追跡漁業調査実施) ヒラメ100万尾/アワビ100万個/アユ300万尾

②加工4課の木村紘貴君が優勝(2月1日) 新地町主催の鹿狼山(430m)登山マラソン 樹海コース(1.6km)で見事優勝しました。



### 昨日より1つ減らそう危険の芽 毎日続けて0災達成!

一人ひとりの心掛け つながれ 広がり 安全・健康・快適職場! 安全に!

